

## ㊦ 安全に関する年間行事

社員の安全意識を維持・向上するために、1年を通じて安全に関する各種運動、講演会及び訓練などに積極的に取組んでいます。

また、経営トップをはじめとする各管理者等は、これらの取組みに積極的に参加し、参加者に直接ねぎらいの言葉をかけたりコメントすることにより、コミュニケーションを深めています。



安全に関する取組み発表会

現場におけるヒューマンエラーの防止、事故・トラブルの再発や未然防止など安全にかかる取組みについて発表を行い、これに対して経営管理層が評価することで、発表者やその所属に対するモチベーションアップにつなげることを目的として行っています。

## 安全に関する年間行事

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<ul style="list-style-type: none"> <li>春の全国交通安全運動</li> <li>建築施設安全週間（建築部）</li> <li>地下鉄工事安全週間（工務部）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>触車事故防止週間（工務部）</li> <li>感電事故防止週間（電気部）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地下街との合同訓練</li> <li>建築安全大会（建築部）</li> <li>技術三部合同情報伝達訓練</li> <li>安全運転推進運動</li> <li>全国安全週間</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全研修</li> <li>防災週間</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>秋の全国交通安全運動</li> <li>触車事故防止週間（工務部）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保守用作業車安全運行強化期間（電気部・工務部）</li> <li>地下鉄ニュートラム安全運行強化週間</li> <li>全国労働衛生週間</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全講演会（管理職向け）</li> <li>秋の全国火災予防運動</li> <li>総合訓練（避難誘導編）</li> <li>同業他社との合同訓練</li> <li>車内案内放送コンテンツ（運転部）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全に関する取組み発表会</li> <li>業務研究発表会（工務部）</li> <li>電気技能競技会（電気部）</li> <li>災害想定訓練（電気部）</li> <li>建築安全大会（建築部）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気工事における安全大会（電気部）</li> <li>サービス向上コンテスト（駅務部）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地下街との合同訓練</li> <li>電気部安全報告会（電気部）</li> <li>運転技能競技会（運転部）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設、車両復旧に関わる鉄道事業本部内連携訓練</li> <li>触車事故防止週間（電気部）</li> <li>業務研究発表会（電気・機械）</li> <li>車両火災予防運動</li> </ul>
2017						2018					



### 気づき情報等優秀事例表彰

輸送の安全確保に係る情報伝達において、ヒヤリ・ハット情報やキガカリを含む情報などにより、事故防止に効果的と認められる事象を報告した社員等に対する表彰を行うことにより、全社員参加による安全意識のさらなる向上や職場環境の改善を図ることを目的として行っています。

### 安全講演会

安全運行・事故防止の取組みの一環として、ヒューマンファクター研究に人間工学からアプローチされている外部講師を招き、異常時にも対応できるしなやかな組織作りについて講演を受けました。

## ※ 社員の研修

### ◆ 全社員への安全研修

全ての社員が、職種を越えた研修を通じて自分たちに「何が必要なのか」、「何をしなければならないのか」を考える研修を隔年ごとに体験型・机上型で行っています。

#### 【体験型研修】

輸送の生命館（安全研修施設）において、過去に地下鉄やニュートラムで発生した事故やトラブルなどを貴重な財産として、その原因、背景要因及び現在定められているルールや取扱いが何のためにあるのかを学び、同様の事故などを繰り返さないという意識を高める研修

#### 【机上型研修】

鉄道事業を安全に運営するための基礎的な知識や事例をもとに事故等の予防策を考えるなどして、気づく力、考える力及び行動することの重要性を学ぶ研修

**1 基本動作や各種設備の取扱いを学ぶゾーン**  
基本動作を学ぶ  
基本動作の重要性及び正しい実施方法を学ぶ  
各種設備の取り扱いを学ぶ（非常時の取扱い）  
非常時に発生する各種設備の正しい取扱い方・対応方法を学ぶ

**2 過去の事故等を学ぶゾーン**  
過去の事故を学ぶ  
○ 1件の事故が企業の特長を色づくことを知る  
○ 鉄道会社の歴史は、過去の事故の痛みと教訓の  
○ 痛み「ね」で作り上げられていることを学ぶ  
○ 有難 緊急インシデント  
○ NT 車止め車突事故  
○ 3天カス車突事故  
乗客の安全確保  
○ 1件の事故が企業の特長を色づくことを学ぶ  
○ 安全基準に終わりがけないことを学ぶ  
○ これから学ぶ事故事例のインデックスを知る

**3 導入ゾーン**  
導入研修  
【安全の目的や意識を再確認する】

**4 メンテナンスの重要性を学ぶゾーン**  
メンテナンスの重要性を学ぶ  
安全を支える設備や装置のメンテナンスは、  
必要な教育・訓練を受けた優秀な従業員と  
適切な投資が必要であることを学ぶ

**5 まとめゾーン**  
まとめ研修・終業トピックのメッセージ  
社員の職務に対する  
「誇り」「責任」を確認する

体験型研修施設（輸送の生命館）



2017年度（平成29年度）には「全員参加で安全風土を高める。」をテーマとして、異常時対応やグループ討議により事故・トラブルの要因を探り対応策を考える研修を行いました。

### ◆ 専門知識・技能の習得

#### 【運転士の養成】

電車の運転士は、鉄道事業の中でも最前線でお客さまに安全輸送を提供する仕事です。

このため運転士になるには、身体的・精神的な資質の他にさまざまな知識、技術を修得し、国家試験に合格しなければなりません。

弊社では、国土交通省から指定された動力車操縦者養成所において、専属の教師が自身の経験などを含めた幅広い教育を行うとともに、実際の線区における指導操縦者による細やかな電車の操縦訓練により、安全意識の高い運転士の養成に努めています。



学科試験



合宿研修



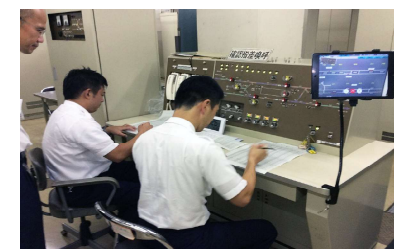
技能試験



指導操縦者研修

#### 【駅係員による信号故障時の対応訓練】

輸送指令所から駅の信号機を遠隔制御できなくなった場合に備えて、当該駅の信号制御装置を操作して電車の運行を確保する訓練を行っています。



#### 【運転士の異常時対応力を高める訓練】

故障や災害など、通常では発生させることが困難な事象への適切な対応力を高めるため、各乗務所に設置した運転シミュレータ装置により随時、訓練を行っています。



## ◆ 専門知識・技能の習得（技術関係社員）

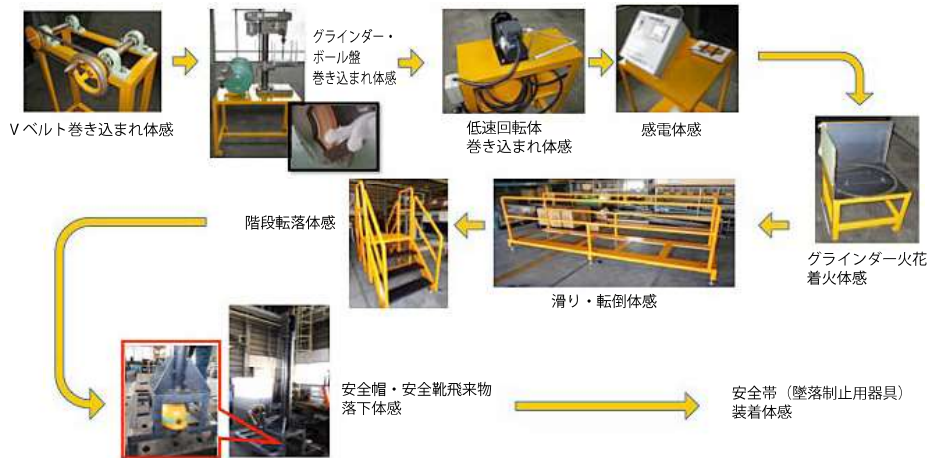
### 【電気部】

鉄道の安全に欠かすことのできない重要な電気保守業務を担っている第一線の社員が日頃の業務（作業）を披露し、これを評価することでより質の高い保守作業の在り方について参加者相互で再確認し、さらなる作業精度の向上につなげることを目的として技能競技会を実施しています。



### 【車両部】

労働災害に関する教育は、机上教習では臨場感がなく、災害時の本当の怖さを伝えきれないことから、安全に対する意識を高めるため、危険体感施設（実際に危険を体感できる施設）の開設にあたり、研修機材の意匠に取り組んでいます。



危険体感施設での研修イメージ

### 【工務部】

経験の浅い若手社員を対象にプロジェクトチームを作り、レール交換など保線技術の向上を図るとともに、中堅社員が細やかに指導することにより、指導力の向上を図っています。



### 【建築部】

「自ら考え行動できる人材育成」を目標に、社員一人ひとりが知識・技術・技能を向上させる取組みとして、テーマを変えて定期的に技術研修を行っています。

